

平成29年10月5日

報道関係各位

株式会社 OKB総研

## 「OKB景況指数」2017年9月期調査報告

OKBグループのシンクタンク(株)OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤 義徳)は、3ヵ月ごとに景況調査を行い「OKB景況指数(旧K-REX)」を公表しております。このたび、2017年9月期調査報告を取りまとめいたしましたのでご案内します。

### 調査結果要旨

景気の水準	好調な生産活動がけん引し、5期連続で上昇。 岐阜県では3年ぶりにプラス圏に浮上。
景気の方角	3ヵ月後は愛知県が弱含む一方、岐阜県では強含みの予想。

### OKB景況指数とは・・・

#### OKB大垣共立銀行の支店長を対象に3ヵ月ごとに調査を実施

東海3県にあるOKB大垣共立銀行の支店長を調査対象としている点が大きな特徴。銀行の支店長は、地域の企業活動や個人の景況感を総合的に捉えている。幅広い視点から地域の景況感を把握するには、銀行支店長への調査は有効な方法となる。(※)

#### 県域より狭い地域の景気の水準を集計

「名古屋」、「西三河」、「西濃」など、県域より狭い地域の景気水準を表す指標を公表している。

(注) 東海3県の当該県域全体を対象としていない(OKB大垣共立銀行の支店所在地エリアが対象)。

※景気調査では企業を調査対象とする場合が多く、その場合、地域の産業構造に近い形で調査対象企業の業種を分散させる必要がある。実際には、日銀短観を除くほとんどの景気調査で業種分散は考慮されていない。また、企業対象の調査では個人の景況感が反映されていない。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 中澤 TEL 0584-74-2615】

# OKB景況指数（2017年9月期調査報告）

## 調査概要

- (1) 調査対象 東海3県にあるOKB大垣共立銀行の法人取引のある支店の支店長
- (2) 調査内容 調査時点の景気水準および3ヵ月後の景気の方角
- (3) 調査方法 2017年8月下旬に調査票を配布し、8月末までに回収

## 調査結果

**景気的水準** : 好調な生産活動がけん引し、5期連続で上昇。岐阜県では3年ぶりにプラス圏に浮上。  
**景気の方角** : 3ヵ月後は愛知県が弱含む一方、岐阜県では強含みの予想。

	景気的水準(2017年9月期)	景気の方角(3ヵ月後見通し)
全地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気全般は+14.9（前环比+11.1）と、5期連続で上昇した。景気は回復基調が続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・+1.2と「<b>良化</b>」超。</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p>東海地区全般では、自動車産業が景気をけん引している。企業業績も好況感に見合う堅調さが見られる。</p>	
県別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県では+18.3（前环比+6.3）と4期連続で上昇した。</li> <li>・岐阜県では+11.2（前环比+13.3）と6期連続で上昇、3年ぶりにプラス圏に浮上した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県は▲4.2と「<b>悪化</b>」超。</li> <li>・岐阜県は+5.3と「<b>良化</b>」超。</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p>愛知県は自動車産業を中心に好調。ただし小規模事業者や繊維業、サービス業など一部では厳しい状況。岐阜県は自動車産業などでは好調な一方、地場産業であるアパレル関連では不調との声も多く、業種でばらつきが見られる。</p>	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回調査から西尾張が低下したものの、他9地域では上昇、うち西三河など7地域は二桁の上昇となった。</li> <li>・自動車関連産業が集積する西三河では「生産活動」「資金需要」がけん引し、+75.0と高水準を示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>良化</b>」超 岐阜、西濃、東濃・可茂</li> <li>・「<b>悪化</b>」超 名古屋、西尾張</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p><b>(西三河地域)</b> 自動車業界を中心に海外向けエンジン部品では人手不足に悩むほど好調。年度内はこうした状況が続く見通し。</p> <p><b>(岐阜地域)</b> 業況は業種等でまだら模様。自動車部品関連・不動産等が好調である一方、地場スーパー、飲食関連では売上が減少傾向。</p>	
項目別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「全地域」を項目別に見ると、新設の「雇用」が+64.9と人手不足感が顕著にあらわれている。その他5項目は4期連続して上昇しており、「生産活動」、「企業収益」は3年半ぶりのプラス水準となった。一方で「個人消費」、「資金需要」は依然マイナス圏に留まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>増加</b>」超 「生産活動」、「設備投資」、「資金需要」</li> <li>・「<b>減少</b>」超 「個人消費」、「企業収益」</li> <li>・「雇用」は「<b>不足</b>」超。</li> </ul>
	<p>(支店長コメント)</p> <p>「<b>個人消費</b>」：住宅関連は堅調である一方、身の回り品での節約志向がみられ、地場の商店、スーパー、飲食店は厳しい状況。  「<b>生産活動</b>」：自動車産業を中心に製造業の一部で好調。その他の業種については横ばい推移。今後も現状維持との見通し。  「<b>設備投資</b>」：一部で設備投資に積極的な企業も見られるが、全体で見れば慎重な見通し。  「<b>企業収益</b>」：人件費上昇等の圧迫要因はあるものの、大半は増益もしくは横ばいの見通し。  「<b>雇用</b>」：全体で人手不足感が漂う中、中小企業や小規模事業者では人材確保が厳しさを増している。業種別では、建設業、サービス業（飲食、小売、介護等）で特に深刻な状況。</p>	

※（支店長コメント）は、該当エリア・項目の調査結果（水準・方角）と関連したコメントを掲載しています。

■指数および算出方法について

- ①「景気の水準」…調査時点における地域の景気の「水準」を示す指数。
- ②「景気の方角」…景気の「水準」に対して、景気の「方向」を示す指数。

右記の例の通り、各項目の回答にポイントを付与。支店の規模によるウエイト調整を行った上で、最高点が100、最低点が▲100となるように、地域毎のポイント合計を当該地域の全支店長が「良い」と回答した場合のポイント合計で割り、100を乗じて算出する。

地域の景気水準を表す「総合指数」の場合

現在の景気に対して	付与ポイント
良い	2ポイント
どちらかといえば良い	1ポイント
良くも悪くもない	0ポイント
どちらかといえば悪い	▲1ポイント
悪い	▲2ポイント

図表1 OKB景況指数「景気の水準」(2017年9月期)

地域名	景気全般		個人消費		生産活動		設備投資		企業収益		資金需要		雇用	
	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し	今期水準(前回比)	見通し
名古屋	11.8(+11.8)	↘	▲11.8(▲5.9)	↔	20.6(+8.8)	↔	0.0(+11.8)	↗	23.5(+14.7)	↘	2.9(+14.7)	↔	88.2(-)	↗
東尾張	18.0(+2.0)	↔	18.0(+18.0)	↗	26.0(+8.0)	↔	12.0(+4.0)	↗	14.0(0.0)	↘	▲2.0(+8.0)	↔	60.0(-)	↗
西尾張	0.0(▲8.3)	↘	▲8.3(▲5.6)	↘	8.3(0.0)	↘	▲2.8(▲8.3)	↗	5.6(+2.8)	↘	▲8.3(0.0)	↔	61.1(-)	↗
西三河	75.0(+37.5)	↔	12.5(+25.0)	↔	62.5(+25.0)	↔	25.0(0.0)	↔	62.5(+50.0)	↘	25.0(0.0)	↔	75.0(-)	↘
東三河	16.7(+16.7)	↔	0.0(0.0)	↗	16.7(+16.7)	↔	0.0(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	0.0(0.0)	↔	50.0(-)	↔
岐阜	15.1(+12.8)	↗	▲5.8(+2.3)	↘	18.6(+8.1)	↗	5.8(+4.7)	↗	22.1(+14.0)	↘	▲14.0(+5.8)	↗	60.5(-)	↗
西濃	0.0(+7.4)	↗	▲16.7(+3.7)	↔	16.7(+16.7)	↗	▲1.9(+13.0)	↗	11.1(+20.4)	↗	▲22.2(+11.1)	↗	53.7(-)	↗
東濃・可茂	16.7(+16.7)	↗	▲16.7(0.0)	↗	38.9(+27.8)	↔	▲5.6(▲5.6)	↔	0.0(0.0)	↔	▲5.6(+27.8)	↔	83.3(-)	↗
飛騨・郡上	16.7(+33.3)	↔	0.0(+16.7)	↘	▲33.3(▲33.3)	↔	0.0(▲16.7)	↔	16.7(+33.3)	↔	▲66.7(▲50.0)	↔	66.7(-)	↗
桑名・四日市	33.3(+33.3)	↔	0.0(0.0)	↔	33.3(0.0)	↔	▲16.7(▲16.7)	↔	16.7(+16.7)	↘	▲16.7(0.0)	↔	50.0(-)	↗
愛知県(5地域)	18.3(+6.3)	↘	2.8(+6.3)	↔	23.9(+8.5)	↘	6.3(+2.1)	↗	19.0(+9.9)	↘	0.7(+6.3)	↔	68.3(-)	↗
岐阜県(4地域)	11.2(+13.3)	↗	▲10.6(+3.2)	↘	18.6(+11.7)	↗	1.1(+3.7)	↗	14.4(+14.4)	↗	▲18.1(+8.0)	↗	63.3(-)	↗
三重(1地域)	33.3(+33.3)	↔	0.0(0.0)	↔	33.3(0.0)	↔	▲16.7(▲16.7)	↔	16.7(+16.7)	↘	▲16.7(0.0)	↔	50.0(-)	↗
全地域	14.9(+11.1)	↗	▲4.7(+4.4)	↘	21.3(+9.9)	↗	2.6(+2.3)	↗	16.4(+12.6)	↘	▲10.2(+7.0)	↗	64.9(-)	↗

(注1) 各項目の「今期水準」は5つの選択肢にそれぞれポイントを付与したうえで算出。

例えば「景気全般」は、「良い」に2ポイント、「どちらかといえば良い」に1ポイント、「良くも悪くもない」に0ポイント、「どちらかといえば悪い」に▲1ポイント、「悪い」に▲2ポイント付与。各回答に付与したポイント合計を、全回答が「良い」とした場合のポイント合計で除して算出。同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

(注2) ( )内の前回は、前回調査時の各指数からの変化幅を表記。

(注3) 見通しは「図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」の「良化(増加・不足) - 悪化(減少・過剰)」の数値が、プラスの場合は↗、マイナスは↘、0は↔で表記。

図表2 OKB景況指数「景気の方角(3ヵ月後見通し)」(2017年12月期見通し)

(単位: %ポイント)

地域名	景気全般	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要	雇用
	「良化」 - 「悪化」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「増加」 - 「減少」	「不足」 - 「過剰」
名古屋	▲5.9	0.0	0.0	5.9	▲5.9	0.0	35.3
東尾張	0.0	4.0	0.0	12.0	▲8.0	0.0	24.0
西尾張	▲11.1	▲11.1	▲11.1	11.1	▲11.1	0.0	22.2
西三河	0.0	0.0	0.0	0.0	▲25.0	0.0	▲25.0
東三河	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岐阜	2.3	▲4.7	4.7	7.0	▲2.3	2.3	44.2
西濃	7.4	0.0	7.4	7.4	7.4	7.4	22.2
東濃・可茂	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
飛騨・郡上	0.0	▲33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
桑名・四日市	0.0	0.0	0.0	0.0	▲33.3	0.0	33.3
愛知県(5地域)	▲4.2	0.0	▲2.8	8.5	▲9.9	0.0	19.7
岐阜県(4地域)	5.3	▲2.1	4.3	5.3	1.1	3.2	35.1
三重(1地域)	0.0	0.0	0.0	0.0	▲33.3	0.0	33.3
全地域	1.2	▲1.2	1.2	6.4	▲4.7	1.8	28.7

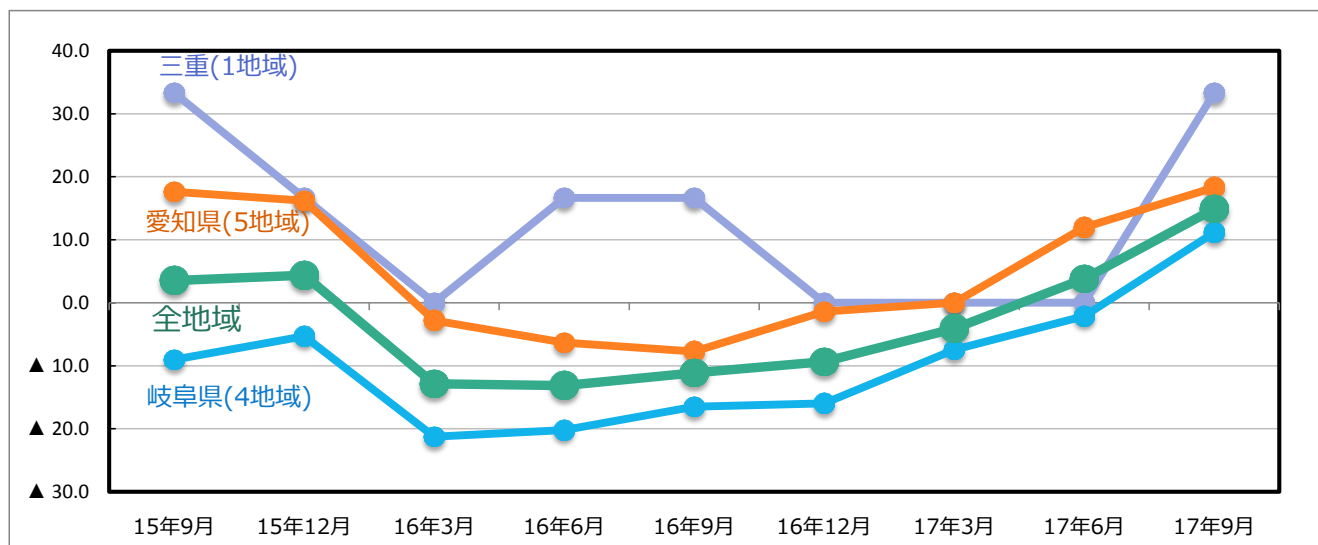
(注) 景気全般は、3ヵ月後は景気が今より「良くなりそう」と回答した割合(%) - 「悪くなりそう」と回答した割合(%)

他の6項目は、3ヵ月後には今より「増えそう(不足しそう)」と回答した割合(%) - 「減りそう(過剰となりそう)」と回答した割合(%)

「景気の水準」同様、同じ市町に複数の店舗がある場合には、当該市町の中心的な店舗以外の店舗について、ポイントを通常の2分の1として算出。

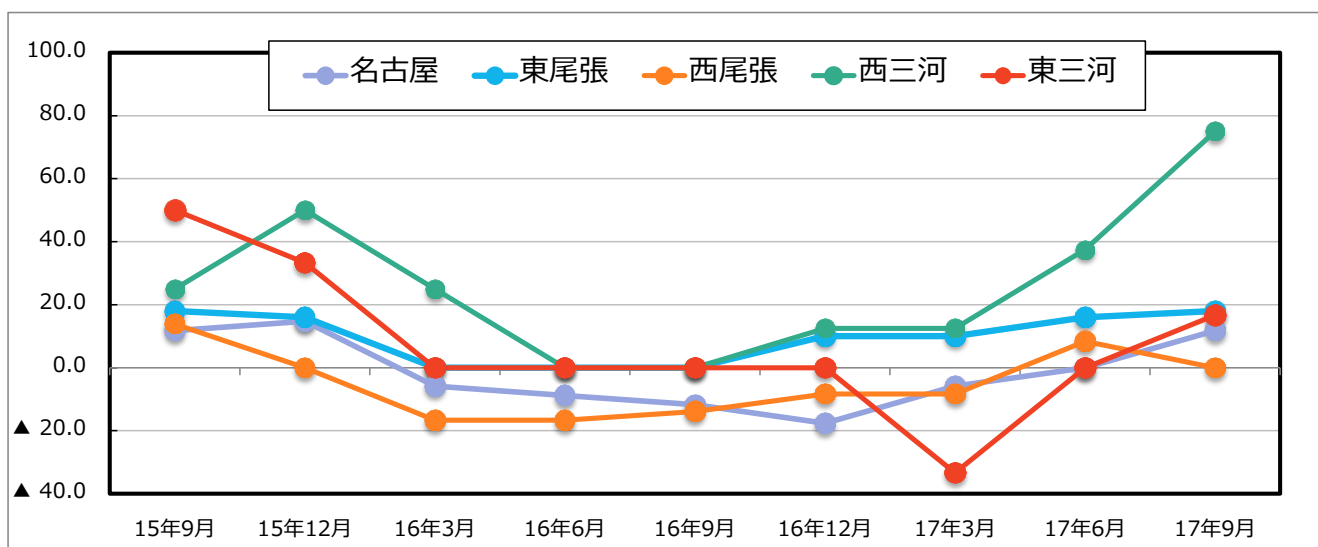
# 「景気の水準」の推移

## ■ 県別

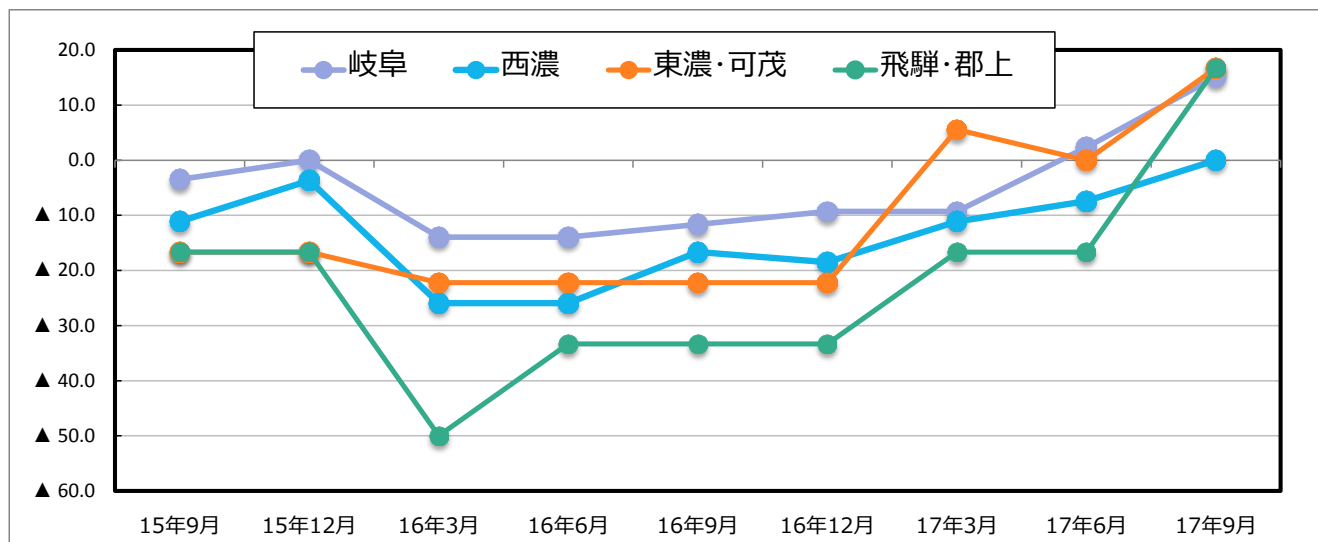


## ■ 地域別

### ① 愛知県内



### ② 岐阜県内



以上